

地域リーダー育成プロジェクト第4回学び合いの場 開催のご報告



◇日 時：平成 29 年 10 月 25 日(水)午後 5 時 00 分～午後 6 時 30 分
 ◇会 場：榛原高校 2 階学習ホール、22HR、23HR、選択教室
 ◇参加者：89 人（高校生 38 人、大人 23 人、視察者等 14 人）



今回は、「4 つのテーマについてこれから深めていきたい“問い”を出し合おう」という目的で行い、高校生から大人まで、色々な問いが出ました。ワークショップでは、3 人の高校生がファシリテーターに挑戦しました。また、山口市、三重県津市、静岡市、東京都等、遠方からの視察があり、交流を深めました。

1 話し合いの進め方について～牧原ゆりえさん（一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ）から～

(1) 私たちを取り巻く社会の背景

社会は早いスピードでどんどん変化。社会のあり方は変わるものであり、自分たちで変えられるもの。「地図(正解)」でなく「コンパス(答えの探し方)」を持つことが必要。



(2) 私たちに必要なこと

自分の思いに耳を傾けること・自分にとって大切な話を呼びかけること・聴き合った話を眺めて、みんなで進むためのコンパスを見つけたり作ったりすること

(3) 学び合いの場でのポイント

色々な人の話に耳を傾ける。「あなた」自身がどう考えるか



2 今までの振り返りと 4 つのテーマをおさらい～牧之原市から～

(1) 地域を良くするための『4 つのテーマ』

やりたいことやできることを出していきます。大切なことなので、毎回おさらいしています。

教育環境

雇用環境

住環境

思いが実現できる地域づくり

(2) 今までやってきたこと

8/14 にスタート！ ➡ 8/23 「私たちの想いを実現するために、あなたがやってみたいと思うことは何ですか」100 人でテーマ出しと対話 ➡ 9/14 「8 月の感想を共有」「4 つのテーマについてどんな可能性があると思いますか」3 会場に分かれて対話 ➡ そして、今回…！

(3) 今回はこんな時間です

- 4 つのテーマについて、皆さんが「やってみたい」「話してみたい」ということを出していただく。今日出たことを次回以降に深め、具体的にプロジェクトをつくっていく。
- 8 月に 100 人で行ったやり方で進めるが、もっと意見を出しやすくするために、今回は会場を 3 か所に分けて行う。高校生の皆さんも、大人の皆さんも、思っていることをぜひ出していただきたい。

3 3 つの教室に分かれて意見を出すワークショップ

～私たちの想いを実現するために、あなたがやってみたいと思うことは何ですか～

4 つのテーマについて思うこと、やってみたいこと、話したいこと等を 1 人で考え、発表。興味ある人同士でグループになり、軽く話しました。ファシリテーターの意向で会場により進め方が異なりましたが、「参加者のペースで」といったことを大切にして進めたようです。

今回、ファシリテーター（進行）を務めた 3 人



久保田さん（榛原高 3 年）
会場：22HR 教室



齋藤さん（榛原高 3 年）
会場：23HR 教室



中嶋さん（榛原高 2 年）
会場：選択教室





榛原高の下村先生も発表！



牧之原市企画政策課発行



思い浮かんだ人から紙に書いて発表しました。

学生と地域のつながりを深めたい。

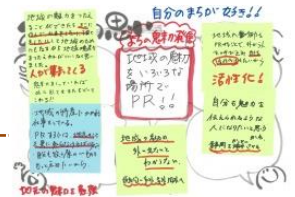
ペルシャ語の勉強をしたい

いくつか出た意見から興味あるものを選び、同じものを選んだ人同士で少し話をしました。

15分間、考える時間。
しーん…と静かな時間が流れました。
個人で考えることを大切にします。

～他にもこんな意見がありました～

「時間を大切にしたい」「人が大切だと思うまちづくり」「初めて会う人と気軽に話せるようになるには？」など、地域の理想の姿、自分の気持ち、やりたいこと等、色々なものが出ました。



【プロジェクトの種】



対話で出た声から行動（プロジェクト）が生まれ、身の回りの環境や地域社会が良くなる動きが広がったらいいなと考えています。プロジェクトになりそうな意見（＝プロジェクトの種）は以下が出ました。次回からは「やってみたい」「話してみたい」と思うものを1つ選んでいただき、深めたいと思います。

- 1 自分の住むまちの高校生を全て集めて対話のサロンを開く
- 2 学生と地域のつながりを深める
- 3 外国人と高校生の交流の場を設ける
- 4 牧之原の1エリアを英語しか使えないまちにする
- 5 地域医療について理解を深めてもらうような医療講演をする
- 6 地域の魅力を発信する
- 7 茶畑の茶摘み体験を目玉にして県外からの観光客を呼び込む
- 8 海外に活き外国人を連れて来て観光地を案内する
- 9 市民ファシリテーター（CLIP）のみんなが儲ける方法を考える
- 10 初めて逢う人と気軽に話せるようになる環境をつくる
- 11 共通の意見を持つ人で団結し、何かを実現する
- 12 校則を変える
- 13 何かしてみたいと思ったときに、その何かを探せる情報提供にシステムをつくる
- 14 地域のママのお手伝いをする
- 15 みんなから出た「探求型」の問いについて、みんなで探求する場をつくる
 - ①ここに住みたいと思う気持ちを強くするためにはどうしたらいいのかを身近な人たちと考えたい
 - ②牧之原市はグローバル化が必要だと言われているが、どのくらいグローバル化が進んでいるのかを調べてみたい
 - ③県外の人にもわかる「牧之原の魅力」を探ってみたい
 - ④あなたが心の底から求める雇用環境とは何か？



4 牧原さんから

問いを考えたときのしーんとした時間に戸惑った人もいたかもしれないが、「今、自分にとって必要なことは？」を考えるのに取り組む時間だった。

これからもみんなで練習しながらまちづくりのことを考えていきたい。



5 西原市長（当時）から

対話の役割には、物事の決定と、思いの共有とがある。自分と意見が異なると排除したり逃げたりしがちだが、対話は排除なくて済む。相手が苦しんでいる事を助けることができる。

市長の任期が終わっても牧之原市を応援していくのでよろしくお願ひします。

ありがとうございました。



グラフィックにも取り組みました！

